

舞浜新浦安フォーラム増築着工

設計監理＝伊藤喜三郎建築研究所、施工＝松井建設

MUM 12年2月竣工目指す

不動産会社タイニチのグループ企業である不動産賃貸会社の「MUM」（千葉県浦安市、六井元一代表取締役）は、千葉



完成イメージ

浦安市で運営する介護付き有料老人ホーム「舞浜俱樂部新浦安フォーラム」の増築工事に着手し

た。3日、建設地の浦安市高洲1の9の1で、工事関係者ら多数が参加し、地鎮祭が行われ待望の工事着手を盛大に祝った。設計監理を伊藤喜三郎建築研究所、施工を松井建設が担当する。12年2月末竣工、同年春のオープンを目指す。

浦安市富士見にある介護付き有料老人ホーム「富士見サンヴァーロ」（79床）が老朽化していることから、舞浜俱樂部新浦安フォーラム内に移転新築し同施設と統合することになった。

浦安中央病院（千葉県浦安市富岡3の2の6、ベッド数72床）が老朽化を理由にテナントとして移転してこることが決まった。1～3階に総合病院4～7階に79床の介護付き有料老人ホーム、食堂、ラウンジ、展望風呂が設置される。

神事では、伊藤喜三郎建築研究所の原勇次社長が鎌を、MUMの六井代表取締役が鍬を、松井建設の松井隆弘社長が鋤を入れ、工事中の安全を祈願した。

施設名は「（仮称）医療・福祉施設増築工事」。

施設規模はRC造地下1階地上7階建て延べ約7941平方メートル。施設には、同社と提携している

神事では、伊藤喜三郎建築研究所の原勇次社長

ことを祈願する」とあいさつ。続いて、浦安中央病院の高須信美医院長が

「品質、工程面含め最高の建物を工期内に引き渡せるよう全力を挙げる」。



上から、鎌入れの原社長、鍬入れの六井代表取締役、鋤入れの松井社長

「品質、工程面含め最高の建物を工期内に引き渡せるよう全力を挙げる」。

向川朋宏工務長（松井建設）の話



「品質、工程面含め最高の建物を工期内に引き渡せるよう全力を挙げる」。